

皆さんに役立つ防災情報を紹介します

防災ノススメ

●問い合わせ…危機管理課(☎39-1227)



第8回目は 「地震のメカニズム」

日本の国土は世界の陸地の1%にも満たないのですが、世界で発生する地震の約10%は日本や日本の周辺で発生しています。地震の発生する原因は、大きく分けて2つあります。一つは、陸のプレートの下に潜り込んだ海のプレートが元に戻ろうとしたとき、その力に耐えきれずに発生する「海溝型地震」です。東日本大震災や南海トラフ地震が、この海溝型地震にあたります。発生は数百年間隔といわれ、巨大地震になることがあります。もう一つは、陸のプレート内に蓄えられた力が原因となり、内陸の活断層で発生する「内陸型地震」です。阪神淡路大震災や熊本地震がこの内陸型地震にあたり、数千年から数万年の間隔で起きるといわれています。

△津地方には、内陸型地震の原因になる
△会津盆地西縁断層帯と会津盆地東縁断層帯があります。西縁断層帯は約400年前の慶長会津地震を、本市を通る東縁断層帯は約3,000年前の地震を引き起こしたといわれています。今後、両断層で発生する地震の確率は0.03%以下とされていますが、2016年に起きた熊本地震は、30年発生確率が0.03%から0.9%の中で発生しました。このように、地震大国である日本では、いつ、どこで大きな地震が発生してもおかしくありません。東日本大震災から11年を迎える今、家の中の家具固定や安全スペースの確保、食料の備蓄など、できることから始めませんか。

